



野比中だより

絆 きずな
—響き合いを大切に—

横須賀市立野比中学校

〒239-0841

横須賀市野比4-4-1

tel:046-849-3318

Fax:046-849-3791



令和5年度スタート

4月7日午前に始業式・着任式、午後に入學式を挙行政しました。今年度は362名の仲間が野比中学校で学ぶことになりました。



↑これは昨年の桜です。↑

野比中の正門そばに多くの桜の木があります。入学式と言えば桜の花が定番ですが、今年の春は桜の花の開花が早く、桜の花でみなさんを迎えることができませんでした。



その代わりに、スロープの途中にある花壇にある「5組」のみなさんが育てているチューリップがみなさんのことを出迎えてくれました。チューリップの花ことばに「思いやり」があります。野比中学校の令和5年度は、みなさんの思いやりがあふれる学校になるといいなあと改めて思いました。毎日暖かい日が続いていますので、すでにチューリップの花のシーズンも終わりを迎えています。花のシーズンに終わりはあっても、「思いやり」にはシーズンオフはありません。「思いやり」の花が咲き溢れる学校にしていきたいと思います。



新たな野比中文化を創るのは

4月に入り、マスクの着用をはじめ、これまでとはちょっと変わった生活が始まります。ある意味、ここから野比中の新しい文化を創り始めることとなります。みなさんはこれまでの野比中の歴史の中で、開校当時の先輩方を除けば、これまでとは全く違う野比中の文化を創り出していくメンバーとなります。

この先、同じような経験をする野比中生はなかなか現れないのではないかと思います。君たちだからこそできる、君たちにしかできない経験が待っていると思います。みなさんの絆のもつ力に期待しています。

「じりつ そうぞう 豊かな心」

1. 自ら学び、自ら考える力を持ち、主体的に判断し行動できる生徒の育成
2. 自らを律し、人を思いやる豊かな心をもつ生徒の育成
3. 心身ともにしなやかに、粘り強く取り組む生徒の育成

さて、その時に大切になってくるのが、上に掲げた学校教育目標です。

改めておさらいします。

まず、「じりつ」と「そうぞう」は「漢字」ではなく、「ひらがな」で表記されています。ひらがなで表記されている意味は、野比中生ならもうばっちりだと思います。1年生のみなさんにも入学式で紹介させてもらいましたね。

じりつ

「**自律**」…他からの支配や助力を受けず、自分の行動を自分の立てた規律に従って正しく規制すること。

「**自立**」…他の力にたよらないで、自分のことは自分ですること。

そうぞう

「**創造**」…既存の要素や素材を独自に組み合わせ、今までなかったものを、新たに創出すること。creation

「**想像**」…頭の中に思い描くこと。imagination

では、「豊かな心」はどんなふう感じていますか？私は以下のような心があるのかなと考えています。

豊かな心

- ・ 他人を思いやる心
- ・ 生命や人権を尊重する心
- ・ 自然や美しいものに感動する心
- ・ 正義感や公正さを重んじる心

今、私が思いつく心を列挙しましたがけれど、「豊かな」となっているので、他にももった

くさん「豊かな心」の例があるのではないかと思います。ぜひ考え付いたら、校長室まで来て、私に教えてください。

話を元に戻します。学校教育目標の三つの言葉、ひらがなで表現されている部分に、それぞれの意味が込められています。その意味を意識しながら新しい文化を生み出していくのです。そしてその担い手はみなさんです。先生方とみなさんと協力して、新しい野比中の文化を創り出していきましょう。



どうする部活動？

4月13日、生徒会主催によるオリエンテーションが行われました。執行部より学校行事の紹介や各種委員会の委員長さんによる委員会紹介が行われました。



その後、部活紹介ということで、それぞれの部から活動の紹介がありました。メンバー紹介だったりデモンストレーションだったり、その部活の個性(?)が表れていて、参加している1年生もとっても楽しそうでした。

